

# ホスクリーンGP・GPL型 取付説明書

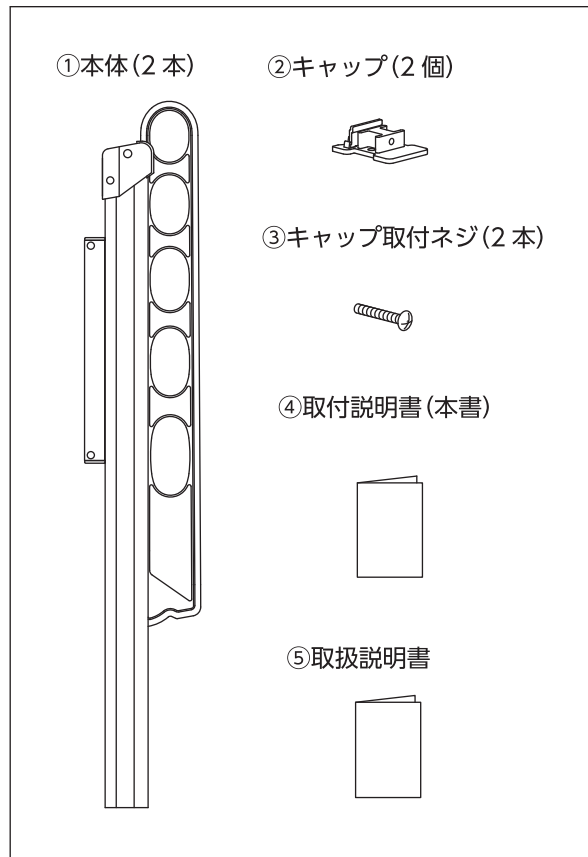
⚠ 必ず本書をよくお読みになり、正しくお取付けください。

TUM-0017-04 18.07

⚠ 非常口、避難ハッチ等の妨げにならない場所にお取付けください。

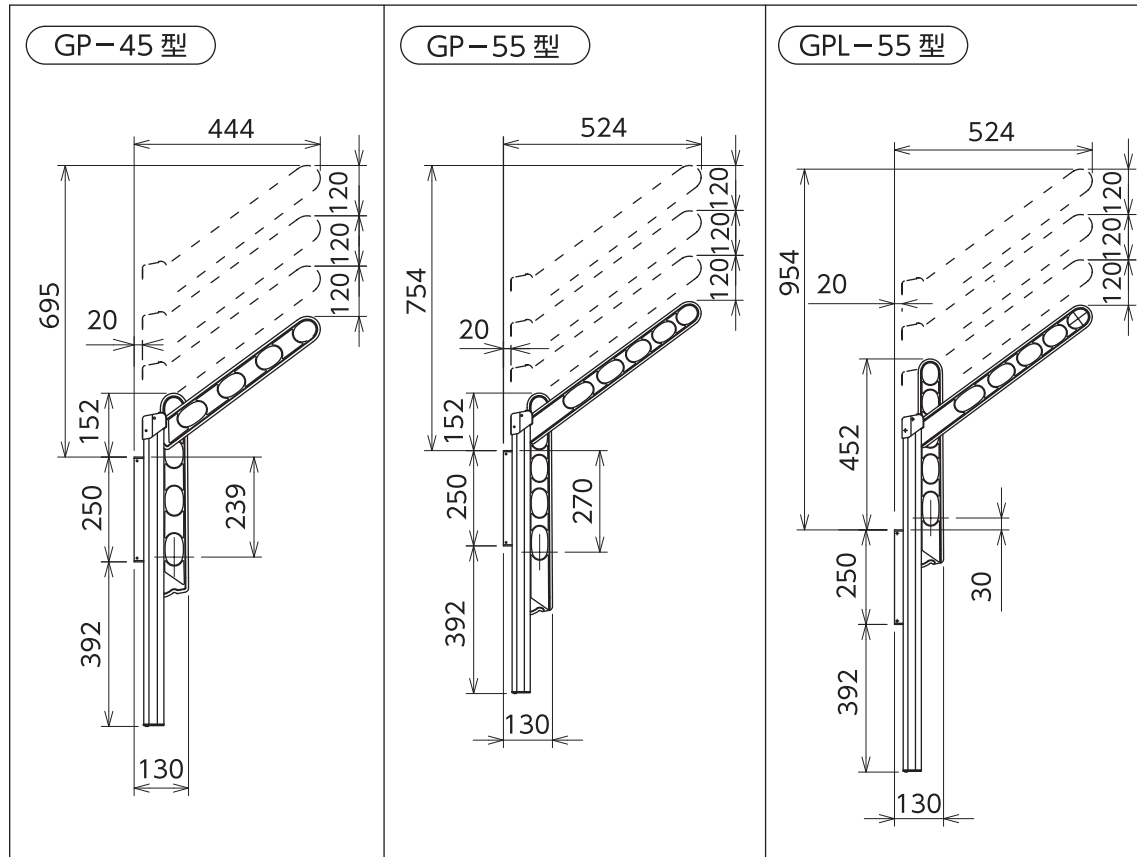
⚠ 高所での作業は部品等の落下に十分ご注意ください。

## 梱包内容 (2本入箱部品一覧)



## 参考寸法図

単位: m/m



## ⚠ 取付上のご注意

### 取付場所・位置

物干金物の取付け場所や位置(高さ等)については、図面指定があればそれに従い、ない場合は御施主様との打ち合わせにより決定してください。  
構造や取付け方法によっては、その場所に下地材を前もって準備しておく必要があります。

### 取付部の強度

使用するネジ等が十分に効く事だけでなく、その他の影響にもご注意ください。

- ・サイディング材の裏に中空部がある場合、その奥の柱にコーチスクリュー等を効かせようとすると外壁材が破損する場合があります。
- ・外壁材の縁から近い所に穴あけ・ネジ締め等を行った場合も、ひびが入って後から破損や浸水する恐れがあります。

### ネジの長さ

壁材が厚く、取付け面から下地材(ネジが有効に効く部分)までが遠い場合は、それに見合った長さのネジをご用意いただく必要があります。

### 防水処置

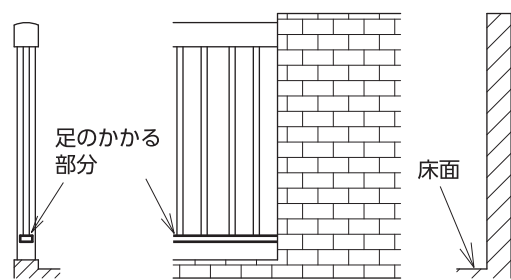
取付ネジ部から浸水があると、柱の腐食にまで進行する恐れがあります。  
外壁材などに下穴をあけたら、穴やその周辺に防水シール剤を充填し、浸水しないようにしてください。  
物干金物の外周部にシーリングした場合も、取付ネジ部や金物構造の隙間から浸水がありますので、必ず穴をあけた部分の防水処理をしてください。

### 粉塵等の対策

砂(土)埃、特にコンクリート粉等が付着しますと、動作や作動時の音に影響を及ぼします。  
御施主様にお引き渡しになるまで、粉塵が付着しないよう、十分ご注意ください。

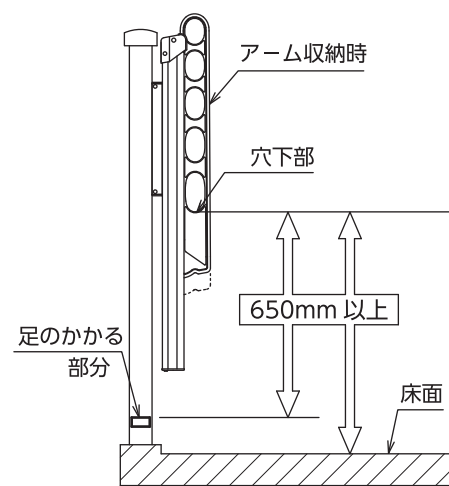
## ⚠ ご注意!

- 転落事故を防止するため、アーム収納時の穴下部が「足のかかる部分」にならないように極力高い位置に取付けてください。  
法律や各種基準では「足のかかる部分」までを650mm以上としています、安全のため800mm以上をおすすめします。

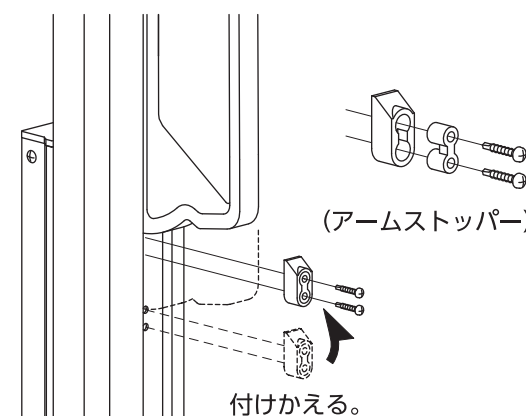


手すり格子の場合は横棧、立上がり壁の場合は床面が650mmの基準になります。

## 低い位置に取付けざるを得ない場合は… アームの収納高さが変わります

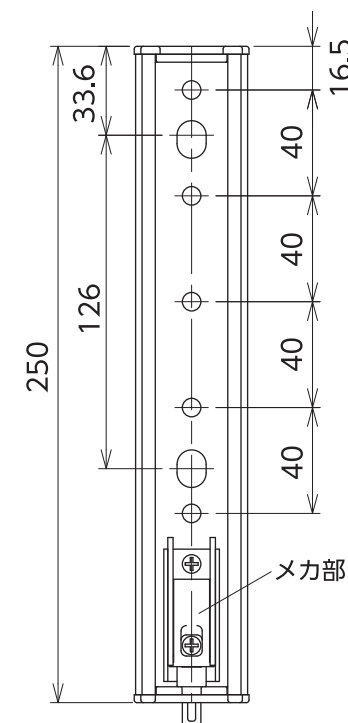


ドリルネジ2本でアームストッパーを適当な寸法の場所に付けかえます。

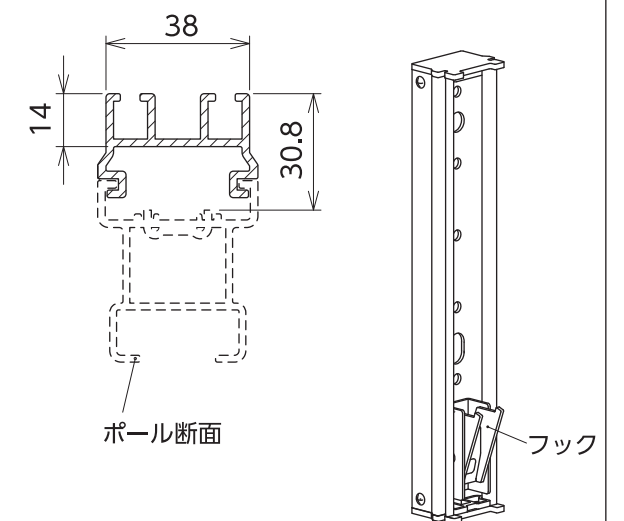


## 【ベースの寸法】取付方法は裏面をご覧ください。

### (ネジ取付ピッチ)



### (ベース材断面図)



## ⚠ ご注意!

ネジやボルトを締付ける時は、電動工具やスパナ等が、メカ部を破損しないようご注意ください。  
特にフックは突起になっておりますので、十分ご注意ください。

ベースの取付方法 (各種取付金具のうち、該当するものをご覧ください。)

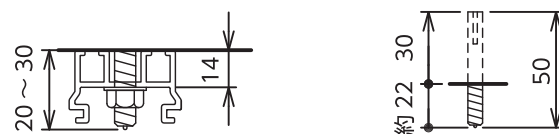
名称	支柱取付パーツ		支柱ハサミ付パーツ		ジカ付パーツ(コンクリート)
記号	HP-1	HP-1B	HP-2	HP-2-DB	HP-5
取付方法	<p>HP-1 …51mmまで M8×75 HP-1B …71mmまで M8×95</p> <p>φ8.5～9mmの貫通穴をあけて、穴にパッキンを貼ってからボルトをゆっくり入れて締付けてください。</p>		<p>※金具自体が足のかかる部分になりますので、金具までの高さを650mm以上にしてください。</p> <p>35～71mm 35～75mm</p> <p>金具を図のように取付けて、ナットで固定してください。</p>		<p>126 M8×25</p> <p>φ12mm、深さ 38mmの下穴をあけて、RC アンカーを打ち込み、ボルトで固定してください。</p>

名称	ジカ付パーツ(木造)	支柱ジカ付パーツ	ジカ付パーツ(木造間柱)
記号	HP-6G	HP-12G	HP-13G
取付方法	<p>ホスクリーン GP 型・GPL 型用パーツ</p>		
取付方法	<p>φ6mmの下穴をあけて、コーチスクリューで固定してください。</p> <p>スパナで締付ける場合、取付パーツ同梱の厚座金を使用すると、締めやすくなります。</p> <p>【厚座金寸法】 φ23 7.5</p>	<p>※支柱の厚みは 2mm 以上が必要です。</p> <p>アルミ厚 2mm以上</p> <p>40 40 40 40</p> <p>ベース</p> <p>テクスネジ φ5×35</p> <p>テクスネジ 5 本で支柱へそのまま固定してください。</p>	<p>※壁厚が 30mm 以上の場合は、ネジが木部に 25mm 以上有効になるようネジ L 寸を選んでください。</p> <p>30mm まで</p> <p>40 40 40 40</p> <p>ベース</p> <p>TP ネジ φ5×75</p> <p>φ3mm の下穴をあけて TP ネジ 5 本で固定してください。</p>

オールアンカー (又は雄ネジタイプのアンカー) をご使用になる場合・・・

オールアンカー M8L50 の例

右図を参考に、雄ネジの先端が 20～30mm までになるよう、アンカーのサイズを決定してください。  
ベースの寸法は、おもて面の【ベースの寸法】の項目を、よくご覧ください。



注! 必ずアンカー単体で打ち込んだ後、ベースをナットで取付けてください。

本体の取付方法

①本体からベースを引抜いて 躯体にベースを取付ける。

②ポールをベースに差し込む

メカ部のフックが引っ掛かりますが、ベース下部にあるスイッチを押し、フックを引っ込めてからポールを最後まで差し込んでください。

スライドすると外れます。

ベース

ポールはココに差し込んでください。

ポールの断面

引っ込む。

押す。

ベースの取付けは左表を、よくご覧ください。

③キャップをネジ止めする。

キャップをポールにはめ、キャップ取付ネジで、固定します。

キャップ取付ネジ

万が一、金具がキャップから外れていた場合は、金具をキャップの爪にはめ直してください。

金具

向きに注意!

(後ろから見た図)

④作動確認をする。  
各動作の確認をしてください。  
(操作方法は本体ポール貼付けのシールを参照してください。)

35°

収納

操作ボタン

取付け後の作動検査の時は静かに作動させてください。ポールを落下させるような衝撃を加えると故障の原因になります。  
※必要に応じて、アームの収納高さを調整してください。おもて面の

アームの収納高さを変えられます

の項に詳しく記載してあります。

【取付け後の点検】  
最後に、製品が確実に取付いていることを必ず確認してください。

以上で完成です。

※別紙の取扱説明書は、必ず御施主様にお渡しください。